

敬愛短大附属幼稚園だより 2月号

1 幼児期に必要なこと

子育てで悩んだ経験のある保護者の方も多いかと思います。子育てに関してはとても多くの解説本が出版されていますが、その多くは一般的な解説が多く、わが子にすぐに役立つかという点、読んでいて何か違和感を感じた経験を持たれた方もいらっしゃるかと思います。

子育ての悩みは様々なケースが考えられますが、書いてあることをそのまま実践しても必ずしも解決には至らないことが多いかもしれません。それは、それぞれのケースの状況が異なることと、子育てに関わる保護者や家族、地域社会の状況も異なるからです。でも、心配はいりません。幼児期にあふれるほどの愛情を注ぐことによって、その後子どもの育ちがおかしくなることはありません。

ただ、子どもの自我が芽生えるころになっても、大人が子どもの抱えている問題を子どもに先んじて解決してしまう行動をとることの弊害の方が大きな影響を子どもに刷り込んでしまうこととなります。子どもが自分で取り組もうとしたり、解決しようとしているときには少し距離を置いて温かい眼差しを注ぐことです。

大人になっても自分で問題の解決ができなくなってしまうのは幼児期から巣立つ時期に大人が関わり過ぎてしまう場合です。こうしなければならないという大人の価値観をこの時期に無理に子どもに押し付けたり、先ほどの大人が先んじて行う行為が子どものその後の成長を止めてしまうことになるからです。

特に大人の価値観の無理強いを伸ばようとする子どもの心の成長を抑制してしまいます。子どもたちはたくさん失敗を経験して、人としての多くの事を学びます。とくに幼児期は多くの自然に触れることで、自然界の精妙さや不思議さに興味を掻き立てられます。こうして、学ぶということは誰からも強制されることなく、自分の意志で行動するところから始まります。どの子も自分の手で何でもしてみたいのです。大人はそんな時に自分を守ってくれる頼りになる存在であれば、子どもたちは多くの経験を重ねることができます。

2 ことばを理解することの大切さ

日本人だから日本語は誰でも使って理解できると思うのは少々怪しいです。大人になっても出された文章の問題を正しく理解して回答することができない人が増えています。質問された内容が理解できていないと回答の内容も質問の趣旨=求められている内容の回答が成立しないこととなります。実際にそういう場面を見ることが多くなってきているようにも感じます。答えは一つである必要はないのですが、質問の意味や内容を文章から読み取ることができない人が結構な割合で存在しています。

文字離れ、本離れ、テレビ離れと時代が変化してきていますが、こうした中で、与えられたことはなんとかできるが、自分で創造することができないという人が多くなってきています。活字を見るのが苦手だったり、ハウツー本ばかりを選択していて、結果だけを求めてしまい、文章から登場人物の心情や心の変化や背景を読み取ることや想像ができないという人が増えてきています。特に、若い世代はあまりテレビも見ず、スマホがないと不安でしょうがない世代へと移りつつあります。スマホは便利なものではありませんが、スマホで検索して分かったような気になっていても、実際に苦労して自分で確かめていないので本当の意味では理解したことにはなっていない場合が多いです。

これは中学生と探究学習をしたときのことですが、学者が論文に書いた難解な文章を読み、そこから疑問に感じたことを出し合うことをしたときのものでした。論文の筆者である大学の先生が出した結論に対して「本当にそうなの」と中学生は素直な気持ちで思いました。調べてみると、この論文の結論をどの大学の先生もそのまま引用していることが分かりました。でも、中学生は？マークがいっぱいでした。その後、何度もその先生に疑問に感じたことを手紙で求め、返信をいただきましたが、それでも疑問は解けなかったため、みんなで協力して調査をしましたが、それでも先生からの回答を十分に満足できるような結論には至りませんでした。この時点で中学生が出した結論は、調べたデータから大学の先生の書かれた結論は否定できないが、肯定もできないという結論を導き出しました。

その15年後、京都大学で別の学者により、これまでそうだと思われていたことが完全に否定される論文が出されて学会で認められました。中学生の力ではこの結論までは到達できませんでしたが、少なくとも違うのではないかという考えも否定できないと結論づけたことがようやく裏付けられたのです。結果より、自分たちの手で苦労して調査をして取り組んだ過程が、どれほど多くの考える力を子どもたちが身に付けることができたのかを如実に物語っています。真実を確かめようと最後まであきらめずに取り組んだ姿勢が大切な能力を獲得させてくれました。